

令和6年度 小・中学校における環境教育の取組み

社会科・総合的な学習の時間（第4学年）

テーマ 【フードロスゼロ大作戦！】

寝屋川市立桜小学校

《学習のねらい》

- ・フードロスの実態を知り、どのような取組みが行われているのかを学ぶことで理解を深める。
- ・フードロスについて、自分たちにできることを考え実践するとともに、学んだことを他者に伝えようという意識を高める。

《学習の流れ》

実施時期 5月 ～ 2月

- ① フードロスについて問題意識を持つ。現状を知るために家庭や学校のフードロス調査をすることで実際に多くの食材が捨てられていることに気づく。
- ② フードロスの量の多さに気づき、危機感を持つ。大人や社会がこの問題に対して真摯に向き合っているのかを確かめるために、学校・市・企業からゲストティーチャーを招き、それぞれの対策を学ぶ。
- ③ フードロスの問題は個人の問題だけでなく社会の問題になっていることに気づき、それを改善しようという意識をもつ。そのため、自分たちが学んだことを他学年や保護者など多くの人に伝える。

《指導のポイント》

- 調べたり、学んだりしたことを、単なる知識にせず、改善するために何が必要なのかを考える。
- まずは自分たちが実行するという意識を高める。
- 未来は自分たちで変えていくという強い意志が持てるようにする。

《活用したプログラムや教材、ゲストティーチャー 等》

- ・「わたしたちの大阪 北河内版」
- ・「くらしとごみ」（寝屋川市）
- ・ゲストティーチャー

フードロスゼロへの取組みについて（本校栄養士）

寝屋川市のフードロスゼロへの取組みについて（寝屋川市環境総務課）

企業におけるフードロスゼロへの取組みについて（スーパーサタケ本部社員）



《成果》

- ・フードロスの学習を通して学んだことを実践する児童もいた。
日々の給食でも残飯量を意識し、残量がゼロになった時には給食調理員や栄養士に自ら報告している姿が見られる。
- ・家庭でもフードロスについて話をするようになり、保護者から「最近、意識をして食事をしていますよ。」という声が聞かれた。
- ・様々な分野のゲストティーチャーの話を聞くことをきっかけに、今後の未来に希望を持ち、よりよい未来にしていきたいという感想を書いている児童もいた。

